

日刊建設通信新聞（2020年8月11日付3面掲載）

【設計＝オリコンサルグローバル・梓JV 施工＝大日本土木・NIPPOJV

パプアニューギニア ナザブ空港整備が起工】

パプアニューギニア ナザブ空港整備が起工

設計＝オリコンサルグローバル・梓JV
施工＝大日本土木・NIPPOJV

パプアニューギニア第2の都市で産業・物流の拠点であるレイ市郊外で「ナザブ空港整備事業」の起工式が7月30日に行われた。旅客ターミナルビルの新設や既設の滑走路、誘導路の改修・拡幅などを行う。詳細設計、入札支援、

施工管理などのコンサルタン
ト業務はオリエンタルコンサル
ルタンツグローバル・梓設計



完成予想

JVが担当。大日本土木・NIPPOJVが施工する。工期は30カ月。

同国北部に位置するレイ市と首都ポートモレスビーを結ぶ交通手段は空路以外になく、年々増加する一方の空港旅客需要に対応するとともに、老朽化が著しい施設・設備を更新することで航空機運航の安全確保と空港機能の強化、効率的な運営を実現する。

事業はODA（政府開発援助）有償資金協力で本邦技術活用条件（STEP）を適用。借款額は269億4200万円となる。発注者は同国空港公社（National Airports Corporation）。

工事内容は、既設滑走路、既設誘導路、駐車場の改修・拡幅、航空灯火改修、駐車場新設、旅客ターミナルビル（S造2階建て延べ約1万0700平方メートル）新設など。